

優しさをもう一度

小林亞星

「ゴハンヨー」と遠くで母が呼んでいる。妙法寺の鐘も鳴っている。

僕達は夢中になっていた缶蹴りをやめて、黙つて家路につく。

街灯には小虫が群がっている。

父は判で押したようにもう帰つている。

薪で焚いた風呂に一人で入る。

星が光り始めた空に煙突のけむりが

吸い込まれて行く。

父は何時ものよう湯船の中で歌い出す。

お山の大将や雨降りお月さん。僕も歌う。

こうして私は沢山の童謡や唱歌を覚えた。

レコードも少なく、勿論テレビなんて無かつた昭和初期の話だ。

我が国以外に、こんなに美しい芸術的な童謡を沢山持つている国は無い。大正・昭和の、まだ日本にリベラルな気風が満ちていた頃に、超一流の芸術家達が心を込めて産み落してくれたものばかりだ。未来の日本を担う子供達に、愛する心、優しさや美しいことを教えてくれる歌ばかり。

この世は戦いだ競争だ。戦う以上は勝たねばならぬ。負けるな頑張れ! アニメもゲームもそんなのはかり。私めも曾てそれに加担した事のある犯人の一人。悔やんでも悔やみ切れない。

これから日本人は、世界の人々から、何て優しい美しい心を持つた人達なんだろうと、敬愛されないと生きて行けなくなるんじやないでしょ?

皆さん、日本の宝である童謡や唱歌を、子供達に何としても伝えて下さい。私の父がやつたように、お願いします。



企画構成を担当した
杉並在住の小林亞星氏(右)、伊藤幹翁氏(左)



心のふるさと“童謡・唱歌”を再発信 第1回のご報告

昨年開催した“第1回 心のふるさと 杉並「童謡・唱歌」まつり”は、おかげさまで多くの方にお越しいただき、盛大なコンサートを行うことができました。大正期の童謡から美しい日本の四季の童謡・唱歌や新しい童謡が演奏され、“子どもの頃を懐かしみ口ずさむ方”や“歌声に感動される方”など、それぞれの想いでお楽しみいただけたようです。「みんなで歌いましょう!」という呼びかけに観客全員で歌う場面では、超満員の会場が大いに盛り上りました。

終演後、多くの方から「これからもこの公演を続けてほしい」という声をいただき、また企画・構成をした小林亞星さんと伊藤幹翁さん、そしてスペシャルゲストの永六輔さんからトークコーナー中に「日本の心のふるさとである“童謡・唱歌”をもう一度見つめ直し広めていきたい。このすばらしい歌をこれからもここ杉並から発信しよう!」という力強いメッセージがあり、これに杉並文化村スタッフ一同も賛同し、“第2回 心のふるさと 杉並「童謡・唱歌」まつり”を開催する運びとなりました。前回ご紹介できなかった曲目も企画しておりますので、ぜひご期待ください。

皆さんの声をお寄せください

“第2回 心のふるさと 杉並「童謡・唱歌」まつり”で「聴きたい曲」、「想い出のある曲」と「その曲にまつわる想い出」を募集いたします。
NPO杉並文化村事務局まで、ハガキ・手紙またはFAX(03-5397-7772)にてお送りください。

チケット申込書

第63回 チャリティー杉並文化フォーラム

お名前			年齢	歳
郵便番号	〒	ご住所		
電話番号			村民 (会員)	はい・いいえ
お席の種類を (S席 · A席 · B席) ○ でご指定ください			紹介者 (チラシ入手先)	
			枚数	枚

上記項目ご記入の上、郵送またはFAX(03-5397-7772)にてお送りください。

*申込書確認後、郵便局の振込依頼票(手数料無料)をお送りいたします。ご入金確認後チケットを郵送申しあげます。